# 本校学生と全国学生との体格・体力・運動 能力に関する調査研究

(第 4 報)

中 山 克 彦

A Report of Investigation on the Sports tests for the Students of our college (No4)

Katuhiko NAKAYAMA

#### Abstract

By making a comparative study of the results of the sports tests for the students of our college, full-time upper secondary schools (15~17 years of age), and of all the technical colleges in Jaran (at the age of 18~19), we have tried to recognize the present educational condition of technical colleges and clarified a characteristic of the continuous education for five years.

The conclusion is that in average stature the students of our college are slightly inferior to those of all the technical colleges in Japan, and that in physical strength and the ability to take exercise, the students of our college are superior, making the most remarkable development at the age of eighteen.

From now on, we will continue to study the problems about the growth of our students.

## 1. まえがき

学校教育における学生の体力・運動能力の推移と現状の把握は、昭和39年度より実施されている文部省スポーツテストの結果大変良好な成果をなしてきた。この統一された方法により、今回は第1報・第2報・第3報に続き本校学生(637名)と全日制高校生(15,16,17才)、全国高専生(18,19才)との体格・体力・運動能力の比較検討により、高専教育の特徴と現状の把握を明確にし、その結果にもとずいて身体の向上・発達を図り、増々鍛練すると共に学生が健康に自信を持って生活するための資料第4報にしたい。

### 2. 研究方法

本校では毎年5月に定期健康診断の形態測定と同時期に実施している文部省要領のスポーツテストにより、本校学生と全日制高校生、全国高専生との平均値の比較検討を行った。なお、標準偏差、相関係数、有意差検定等

は東芝トスバック**3400**の電子計算機を使用し算出した。 尚平均値および標準偏差,有意差検定,相関係数の 有意差検定は次の公式により算出した。

 M=平均
 S.D=標準偏差
 N=調査人員

 ±M=平均値の差
 Z=Z検定
 r=相関係数

$$S.D = \sqrt{\frac{\sum fd^2}{N} - (\frac{\sum fd}{N})^2}$$
級間の中

$$Z = rac{M-m}{S.D}$$
  $N=$ 本校調査人員  $S.D=$ 全国の標準偏差  $M=$ 本校の平均値  $m=$ 全国の平均値

$$r = \frac{\sum XY/N - M_x M_y}{S_x S_y} \quad r = 相関係淡$$

$$t = \frac{r\sqrt{N-2}}{\sqrt{1-r^2}}$$
  $t =$ 相関係数の  $t$  検定量

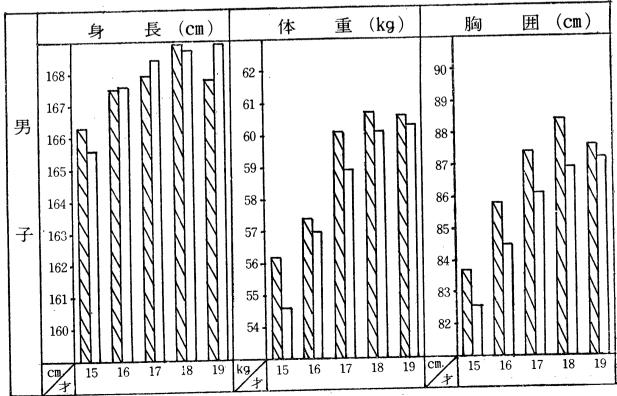
<sup>\*</sup>宇部工業高等専門学校体育教室

表1. 昭和47年度本校学生と全日制高校生及び全国高専生との体格の平均値の比較表

				表1.	体格	各 の	比	較						
性	種			年令		15	5		16					
別	目	地	域	· .	N	M	S.D	$\pm M$	N	M	S.D	± M		
	身	本		校	128	166.3	5. <b>5</b> 8	+0.7	163	167.5	4.75	(-0.1)		
		全		国	1690	165.6	5.84	10.7	1785	167.6	5.63	( 0.17		
:	長	有	意	差		Z=1.35	5		Z = -0.22					
男	体	本		校	128	56.2	7.38		163	57.4	5.70	+0.4		
为	PT	全		国	1691	54.6	7.27	+1.6	1786	57.0	6.66	+0.4		
	重	有	意	差		Z=2.48	3 **	<u>'</u>		Z=0.76	5			
	胸	本		 校	128	83.7	4.38		163	85.8	4.68	+1.3		
	旭	全		玉	1659	82.6	5.22	+1.1	1754	84.5	4.93	11.3		
子	囲	有	意	差		Z=2.38	8 %			Z = 3.36	5 **	•		
7	100	本		 校	128	89.0	3.55	107	163	89.7	2.97	+0.3		
	座	全		国	1295	88.3	3.82	+0.7	1380	89.4	3.44	10.3		
	高	有	意	差		Z=2.0	7 ※			Z=1.1	1			

◎全国平均は昭和47年度文部省体力・運動能力調査報告書を利用した. 尚15,16,17才は全日制高校,18,19才は全国高専の資料を利用した.

図1. 体格の比較

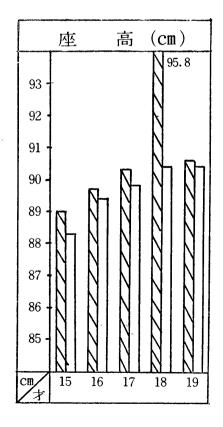


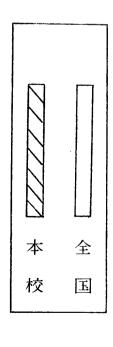
(注) 15, 16, 17才は全日制高校. 18, 19才は全国高専の資料を利用した.

Res. Rep. of Ube Tech. Coll,, No.18, March, 1974

	17	,			18	3			19	)		
N	M	S.D	±Μ	N	M	S.D	$\pm M$	N	M	s.D	± M	
145	167.9	5.00	(-0.5)	141	168.9	4.78	+0.2	119	167.8	5.49	(-1.1)	
1975	168.4	5.32	( 0.0)	1174	168.7	5.31		1210	168.9	5.28		
	Z = -1.	13			Z=0.44	1	,		Z = -2	.27 💥	[	
145	60.1	5.53	+1.2	141	60.7	5.63	+0.6	119	60.6	6.94	+0.3	
1982	58.9	6.75	11.2	1174	60.1	6.30	10.0	1210	60.3	6.14	10.5	
	Z=2.14	· *			Z=1.13	3			Z=0.53	3		
145	87.4	4.21	+1.3	141	88.4	4.98	+1.6	119	87.6	4.67	+0.4	
1950	86.1	4.89	11.5	1173	86.8	4.46	11.0	1211	87.2	4.47	10.4	
	Z=3.20	)	•		Z = 4.2	5 **		Z = 0.97				
145	90.3	2.66	105	141	95.8	3.37	15.4	119	90.6	2.94	102	
1507	89.8	3.46	+0.5	1171	90.4	3.17	+5.4	1211	90.4	3.04	+0.2	
	Z=1.74	1	·	•	Z=20.2	22 ※	*	Z=0.71				

(注) ※5%水準の有意(|Z|≧1.96) ※※1%水準の有意(|Z|≧2.58)





宇部工業高等専門学校研究報告 第18号 昭和49年3月

# 表2. 昭和47年度本校学生と全日制高校生及び全国高専生との運動能力テストの平均値の比較

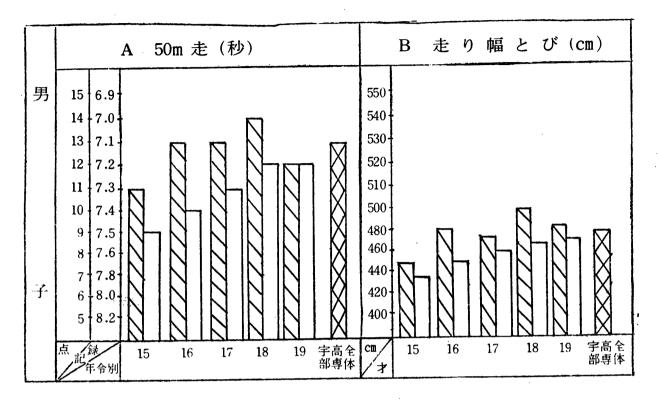
表2. 運動能力テストの比較

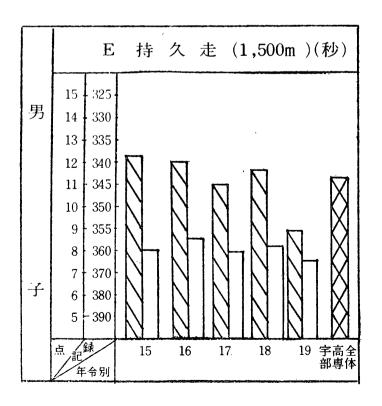
性	年			種目	50	<b>)</b> 加走	(秒	)	走	り幅飛	び (c	m)	ハン	ドボーハ	投げ	(m)
别	令	地	域		N	M	S D	±Μ	N	M	SD	±Μ	N	± <b>M</b>	SD	±Μ
	15	本全		校国	107 1687	7.3 7.5		0.2			40.59 43.09	12.1	107 1665		4.46 4.38	1.3
		有	意	差	Z	z = 4.81	**		Z	Z=2.90	)		Z	z = 3.07	<b>*</b> *	
男	16	本全		校国	152 1786		0.31 0.41	0.3			34.65 43.10	32.2	152 1767	1	4.44 4.37	3.9
		有	意	差	Z	z = 9.02	2 <b>*</b> *		. 2	z=9.2	ı		Z	z = 11.0	0 ※%	<b>«</b>
	17	本全		校国	124 1982	7.1 7.3		0.2			36.95 41.14	14.0	124 1956		3.84 4.57	2.1
		有	意	差	Z	z = 5.30	· **		2	Z=3.78	3 **		Z	z = 5.11	<b>*</b> *	
子	18	本全		校 国	133 1147	`		0.2			37.01 39.24	31.7	133 1142		4.15 4.12	3.0
		有	意	差	7	z=6.23	3 ***		7	Z=9.3	1 ※※		7	z = 8.39	**	
	19	本全		校 国	121 1209			0			41.31 41.73	12.3	121 1205		4.49 4.39	2.3
		有	意	差	2	Z = 0			2	Z = 3.26	4 ※※	(	7	z = 5.76	**	
本	校	. 全	E 1	体	637	7.1	0.34		637	478.1	41.22		637	31.1	4.53	

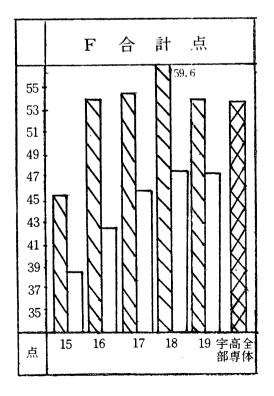
懸	すし	۲,	(回)	持久	走(1.	.500m)	(秒)	運動的	能力ティ	ストの台	点信台	級別判定			
N	M	S D	±Μ	N	M	S D	±Μ	N	М	S D	±Μ	N .	M	SD	± M
107 1673	7.6 7.4		0.2		338.4 \$£9.9		21.5	107 1598		11.19 11.37	6.7	107	3.3	0.88	,
Z	=0.54	ļ		Z=0.71				Z	=6.09	· **					
152 1790	8.9 8.5		0.4		339.9 357.6		17.7	152 1681		12.13 12.62	11.2	152	2.8	0.92	
Z	=1.00	)	;	2	Z=6.92	2 ***		Z	=10.9	94 ※	*				
124 1988	11.1 9.0	4.31 4.00	2.1		345.1 361.3		16.2	124 1884		11.98 12.59	18.9	124	2.8	0.80	
Z	=5.84	**		Z=5.70 %%				Z	=7.87	/ <b>*</b> *					
133 1147	12.2 9.0		3.2		343.5 358.7		15.2	133 1136		14.39 12.34	12.4	133	2.6	0.96	,
Z	=10.3	30 <b>%</b> %	<b>*</b>	2	z = 5.42	2 **		Z	=11.5	8 💥	*	•			
121 1211	11.5 9.1		2.4		351.1 363.6		2.5	121 1190		14.60 12.85	6.8	121	2.9	0.91	
Z	Z = 6.15 *** Z					Z =4.10 ***			Z=5.82 ***				•		
937	10.3	4.56		637	343.5	30.22		637	<b>5</b> 3.7	13.69		637	2.8	0.93	

## 中 山 克 彦

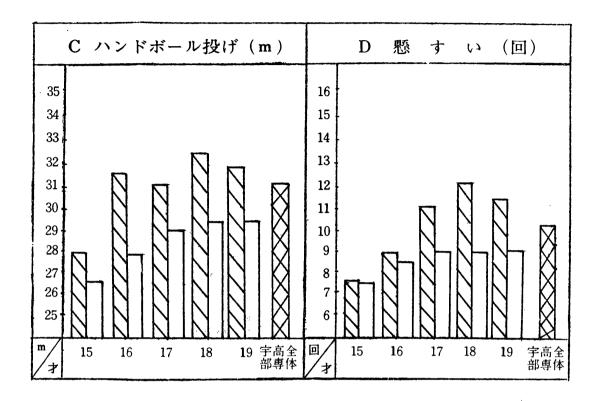
## 図2. 運動能力テストの比較

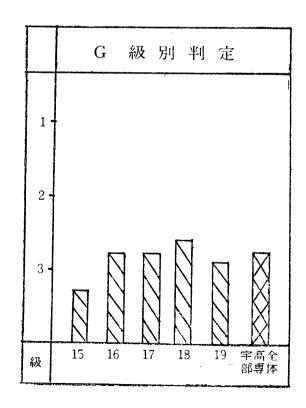






Res. Rep. of Ube Tech, Coll., No.18. March, 1974





宇部工業高等専門学校研究報告 第18号 昭 和 49 年 3 月

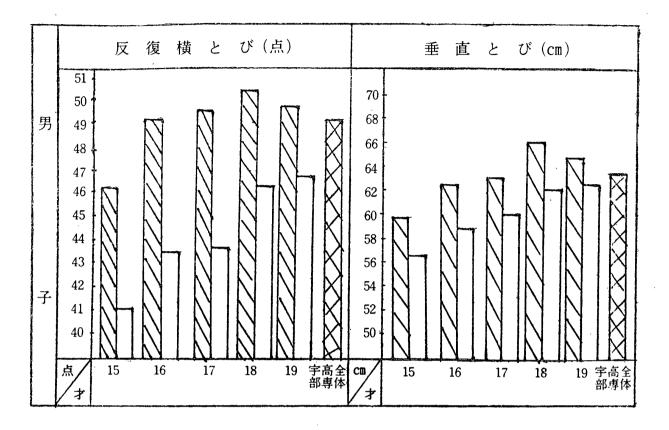
# 表3. 昭和47年度本校学生と全日制高校生及び全国高専生との体力診断テストの平均値の比較

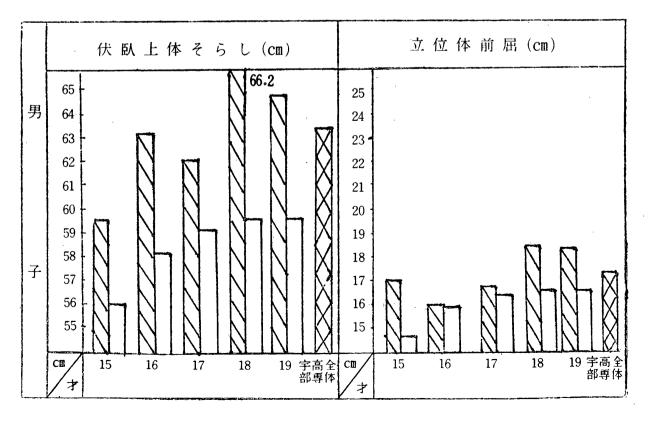
## 表3. 体力診断テストの比較

性	年	種目	反復横と	· び <b>(</b> 点)	)	直と	び(	(cm)	背	筋	力 (	(kg)	握		力	(kg)
別	令	地域	N M	$ \mathbf{S} \mathbf{D}  \pm 1$	MN	M	S D	±Μ	N	M	SD	± <b>M</b>	N	M	SD	±Μ
	15	本 校 全 国	107 46.2 1698 41.6	4	.6	7 59.8 8 <b>5</b> 6.6		3.2			20.41	12.6	107 1698	44.1 42.3	5.66 6.83	1.8
		有意差	Z=10.	27 ※※	Z	=4.6	4 ※	*	Z	=5.80	5 <b>%</b> %	(	Z	=2.72	. <b>*</b> *	
男	16	本 校 全 国	152 49.1 1802 43.5	5	.6	2 62.4 0 58.9		3.5			20.05	10.0	152 1800	47.1 44.6	5.94 6.82	2.5
		有意差	Z = 14.	Z	Z = 5.81 ※※			Z	z = 5.20	0 **	•	Z	Z =4.51 %%			
	17	本 校 全 国	124 49.5 1978 43.7	5	.8	463.1 860.0		3.1			20.28	13.3	124 1998	48.6 46.9	5.48 6.90	1.7
		有意差	Z=12.	91 ※※	z	=4.6	0 ※	*	Z	z = 6.00	6 **		Z	=2.74	<b>*</b> *	
子	18	本 校 全 国	133 <b>50.</b> 5	4	. 1	3 66.1 7 62.1		4.0			21.12	28.5	133 1177			2.8
7		有意差	Z=11.	17 ※※	Z	=6.7	2 ※	<b>*</b>	2	z = 14.	10 💥	*	Z	z = 5.42	2 **	
	19	本 校 全 国	121 49.8 1212 46.8	3	.0	1 64.9 2 62.5		2.4			28.72	25.8	121 1212			(-1.3)
		有意差	Z=7.3	6 ※※	Z	=3.9	9 ※	<b>*</b>	2	Z=11.	68 ※	<b>*</b>	Z	Z = -2	.22 💥	
本	校	全体	637 49.	13.60	63	763.4	6.94	1	637	156.9	25.32		637	47.3	6.30	

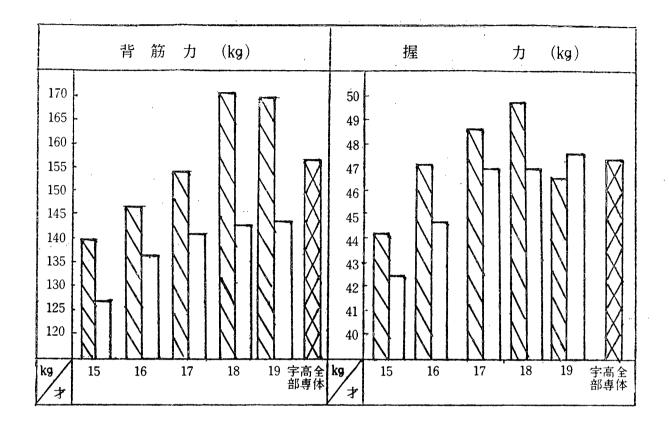
<b>一</b>	入上体そ	らし	(cm)	立	位体	前屈	(cm)	踏	み合:	昇降道	重動 📗	体力	診断テ	ストの台	計点
N	M	S D	±Μ	N	M	S D	±Μ	N	M	SD	±Μ	N	M	SD	±Μ
107 1696		6.32 8.11	3.6	107 1698			2.4	107 1663		11,03 11.94	(-3.0)	107 1657			2.1
Z	Z = <b>4.5</b> 9	**		Z =4.34 %%				2	z=2.59	9		Z	z = 7.49	· **	
152 1800		5.70 8.10	5.0	152 1802	16.0 15.9		0.1	152 1765		11.71 12.24	(-2.0)	152 1761			2.5
Z	z = 7.61	<b>*</b> *		Z	z = 0.22	2		2	z = -2	.0 ※		Z	z = 10.4	14 💥	<b>K</b>
124 1998		6.75 8.32	2.9	124 1998			0.3	124 1970		13.00 12.14	(-2.0)	124 1946			2.0
Z	z = 0.34			Z=0.63				2	z = -1	.83		Z	z = 7.67	7 ※※	
113 1177			6.5	133 1177			1.9	133 1165		11.31 12.26	2.0	133 1163			2.9
Z	z =9.91	. <b>*</b> *		7	z =4.48	3 ***		2	z = 1.8	8 ※		Z	z = 12.8	36 <b>%</b> >	<b>*</b>
121 1212			5.0	121 1212	18.3 16.6		1.7	121 2202		10.95 11.22	(-1.4)	121 1202		2.79 2.53	1.9
Z	Z =7.47 %%				Z=3.78 ***			Z = -1.37			Z = 8.26 ***				
637	63,3	6.90		637	17.3	4.57		637	64.9	11.75		637	27.4	2.75	

図3. 体力診断テストの比較





Res. Rep. of Ube Tech. Coll., No.18. March, 1974



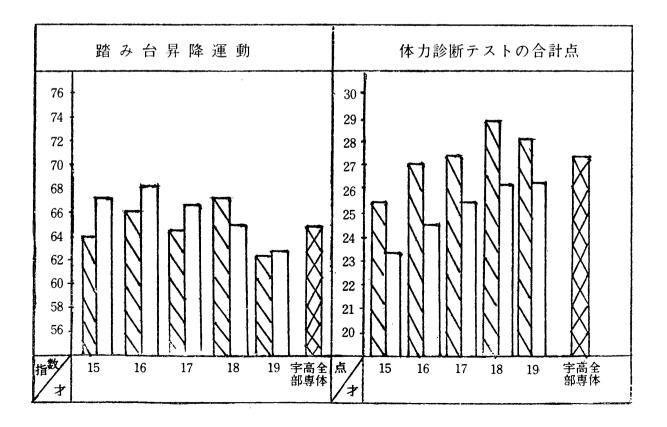


表4. 昭和47年度,本校学生(763名)の体力・運動能力テストの各種目の相関マトリックス

表4. 相 関 マ ト リ ッ ク ス

本校全体(n=637)

**					T		
	50	走 り	ハ 投ン	懸	1500	運テ合	級
	m	「幅 に と	ドボ	す	m	動ス計能ト	別判
	走	び	ルザ	رئ د	走	力の点	定
50 m 走		※※ -0.718	** -0.425	** -0.336	%% 0.359	×× −0.722	※※ 0.404
走り幅とび			<b>%</b> % 0.511	※※ 0.465	<b>※</b> ※ −0.361	%% 0.791	** -0.505
ハンドボール投げ				※※ 0.339	<b>※</b> ※ −0.246	%% 0.696	-%.₩ -0.482
懸すい					<b>※</b> ※ − <b>0.297</b>	%% 0.706	** -0.522
1500 加 走				,		<b>※</b> ※ −0.694	※※ 0.467
運動能力テスト の 合 計 点	,						<b>※</b> ※ −0.694
級 別 判 定							
反復横とび							
すい直とび							
背 筋 力							
握   力							
伏臥上体そらし							
立位体前屈	•						
踏み台昇降運動							
体力診断テスト の 合 計 点							

			<del></del>			1	
反と	すとい	背	 	伏を	立 前	踏界降み	体テ合力ス計
復	( '	助		上	1114	運	診ト
横び	直び	カ	カ	体し	体 屈	合 動	断の点
** -0.272	** -0.440	** -0.253	** -0.341	** -0.151	-0.021	-0.094	** -0.364
※※ 0.387	%% 0.486	%% 0.411	%% 0.399	%% 0.235	<b>※</b> <b>0.10</b> 1	%% 0.153	%% 0.504
※※ 0.356	%% 0.398	%% 0.363	<b>※</b> ※ 0.384	%% 0.250	<b>※</b> ※ 0.110	%% 0.130	※※ 0.458
%% 0.335	%% 0.273	%% 0.417	%% 0.301	%% 0.149	<b>※※</b> 0.237	%% 0.234	%% 0.471
** -0.179	<b>※</b> ※ −0.142	-% -0.106	- <b>%</b> .103	-0.064	-0.019	** -0.414	-0.271
%% 0.429	%% 0.458	<b>※</b> ※ 0.426	%% 0.410	%% 0.228	<b>※</b> ※ 0.142	%% 0.317	%% 0.568
** -0.273	-% <b>※</b> -0.260	<b>※</b> ※ −0.295	<b>※</b> ※ − <b>0</b> .304	<b>※</b> ※ − <b>0.143</b>	-0.079	** -0.277	<b>※</b> ※ − <b>0.377</b>
	%% 0.333	%% 0.323	%% 0.287	<b>※※</b> <b>0</b> .176	%% 0.133	%% 0.133	%% 0. <b>4</b> 77
		%% 0.328	※※ 0.290	<b>※</b> ※ 0.254	%% 0.163	0.009	%% 0.510
			%% 0.561	%% 0.325	%% 0.243	0.052	%% 0.665
				%% 0.254	%% <b>0.</b> 136	0.070	%% 0.599
					%% 0.364	0.027	※※ 0.570
						0.039	<b>※</b> ※ 0,524
							%% 0.355

(注) ※5%水準の有意(|t|≥0.08) ※※1%水準の有意(|t|≥0.11)

## 3. 考 察

本校学生の体格は身長において16,17,19才と全日制高校生及び全国高専生の平均値に劣っているが、体重・胸囲・座高においては優っている。特に胸囲は順調な発達を示している。

運動能力テストに関しては、各種目・各年令とも全日制高校生及び全国高専生の平均値をはるかに上まわっている。特に懸すいの15,16才,持久走の15才,50m走の19才を除き、各種目・各年令とも平均値の差の検定で1%以上の有意性を示した。しかし、19才が合計点で15,16才より悪い結果は特に注意を要する。

体力診断テストに関しては、踏み合昇降運動の15,16,17,19才が全日制高校生及び全国高専生の平均値をはるかに下まわっている他は、各種目、各年令とも全日制高校生及び全国高専の平均値をはるかに上まわっている。特に、伏臥上体そらしの17才、立位体前屈の16,17才で平均値の差に有意が認められない他は、各種目・各年令とも平均値の差の検定が1%~5%水準の有意性を示している。

体力・運動能力においても高専生は18才の記録がピー クである特徴を示した.

各種目間の相関では、50m走と走り幅とび、走り幅とびとハンドボール投げに高い相関を示した。また、体力診断テストの合計点と運動能力テストの合計点にかなり高い相関を示したことは発達が順調であると思われる。

#### 4. む す び

青年期の発育・発達に興味を持ち継続研究しているが、今回の比較調査より次のような点が見出された.

1) 本校学生の体格は、身長において全日制高校生及 び全国高専生に平均値が劣り、体重・胸囲・座高 は優っていること、これは、身長小にして「ずん ぐり型」の体型学生が多いことを示した.

- 2) 運動能力テストに関しては、全日制高校生及び全 国高専生をはるかに上まわっていること、本校学 生においては18才ピークの特徴を示した。
- 3) 体力診断テストに関しては、踏み合昇降運動で 15,16,17,19才と全日制高校生及び全国高専生 に平均値がはるかに劣っていること。その他の種 目は、各年令とも順調な発達と思われた。特に、 体力においても本校は18才ピークの特徴を明らか にした。なお、19才の記録の低下は、就職、生活 環境、体育カリキュラムなどの諸問題があると思 われる。
- 4) 相関に関しては、走り幅とびと50m走、ハンドボール投げに高い相関を示した。また、体力・運動能力の合計点に高い相関を示したことは学生の発育発達が順調なことを示したと思われる。

今後はこの研究の資料に基いて、継続研究を行い、学生の健康管理と体力・運動能力の向上に努めたい。なお、本研究は富樫・永久・重田・有原諸先生方の懇切なる御指導によったものである。ここに記して慰謝の意を表します。

#### 参考文献

1) 吉岡博人:衛生統計概説 (光生館,昭36年)

2) 立山 清:例解統計学 (第一出版,昭43年)

3) 中山克彦:宇部高専研究報告

No. 5 pp45~50 (1967)

4) 中山克彦: ク

No. 7 pp66~78 (1968)

5) 中山克彦: ッ

No. 9 pp39~46 (1969)

6) **47**年度文部省スポーツテスト報告書(文部省体育 局)